

第204号

令和7年
11月1日発行
十夜号

西光



靈閑だより

欲に際限なし 修行も終わりなし

日々のこと

本山永観堂は真言密教寺院だった!?

素敵なおくりもの

万博、インド館の戦利品

五感で味わうお寺

No 仏教, No Life 門前掲示板 一言法話

10月 誰も見ていなくても 自分が見ている

11月 怒り返さない

お知らせ

十夜会のご案内



浄土宗西山禅林寺派
雲龍山 西光寺 住職 大塚靈閑

〒671-0101 姫路市大塩町229番地

☎ 079-254-0351(Tel)

☎ 079-254-4142(Fax)

✉ otsuka@saikouji-himeji.com

🏠 <https://saikouji-himeji.com/>



HP



LINE



Instagram

靈閑だより



欲に際限なし 修行も終わりなし

欲望を常にポケットに・・・

私は煙草を吸いませんが、禁煙が難しいという気持ちは分かります。ある方の話。禁煙をすべくまずは環境から整えようと身の回りから煙草をなくしてみた。しかしすぐ吸いたくなって、ないものだからつい買いに行ってしまった。今度は逆にポケットにずっと煙草を入れてみた。吸いたくなってポケットに手を伸ばすも、もう少し我慢してみるかとやっているうちに、あれ今日まだ一本も吸ってないんじゃないかということになって、いつの間にか禁煙できていたという話。

欲はなくせない コントロールする

仏教の目的は煩悩^{ぼんのう}や欲を減する、無くすことではありません。実際、食欲、睡眠欲、性欲といったものは生き物である以上無くすことはできません。人のためになる仕事をしたい、もっとサッカーがうまくなりたい、これらは素晴らしい欲です。この「滅」という訳語が誤解^せを招くのですが、インドの原語では、水の流れを堰き止めるという意味です。水の流れをコントロールすることで、水はあっても流れなくなるということです。水(=欲)を無くすのではないのです。欲は絶対になくせませんので、コントロールする、うまく付き合っていくまいしょうということをお釈迦さまは言っているのです。

発心は 一回だけするから ダメになる

「よしこれから毎日走ろう」「明日から勉強頑張ろう！」素晴らしい発心ですが、同時にこんなあてにならない発心はありません。やろうという気持ちはあるのはあるのですが、一方で適当な言い訳をこしらえ、まあ別に今日はとりあえずいいだろうと、なまけたい欲に負けてしまうのです。

発心は百千万発しなはれ

さて発心。思い立つこと、ですがもともとは仏教用語です。発心は発菩提心^{ほつぽだいしん}の略で、仏になる、つまりはさとりを求める心を発することです。仏の道歩む者(菩薩^{ぼさつ})の修行の第一歩といえます。

一発菩提心を百千万発するなり・・・

発心は一発にしてさらに発心せず・・・

曹洞宗を開かれた道元禅師のことばです。禁煙しよう！という発心を一回しかしないから三日坊主になってしまうのです。百千万発しなはれということなのです。煙草がいつでも手に届く場所にある。それは欲望を常にポケットに入れているようなものです。吸いたくなるたびに、これは吸ってはならないのだと決意を新たに発心をし続けるのです。少々卑近な例になってしまいました。それができれば皆苦労しないわけですが、何事も日々の積み重ねなのですね。

初心は何度でも

「初心^{しよしん}忘れるべからず」といいますが、この初心も仏教用語で、初めて悟りの心を発すること、初発心^{しよほつしん}のことです。よしやるぞの初心はもちろん尊いものですが、これを百千万発しなさいというのです。なぜかという仏道に限りませんが、努力や精進、修行にこれでよいという終わりはないからです。試行錯誤と軌道修正を加えながら、日々新たに前に進んでまいりましょう。

日々のこと

本山永観堂は真言密教寺院だった!?



本山の宗派がもとは違っていたと聞くと不思議に思われるかもしれませんが、永観堂は今から約1200年前の平安時代、真言密教の道場として歩みを始めました。法然上人によって浄土宗が開かれるのはまだまだ先のことです。今年の寺宝展では、そんな密教系の美術に出会えます。そして今京都はほとんど外国人です。外国に行かなくても、京都に行けば異国の雰囲気を感じられます。

素敵なおくりもの



秋のお彼岸法要にお参りくださった方から、素敵なおくりものを頂きました。お寺の山門に入ったすぐのところのお地蔵さん。お地蔵さんの背後の石には、当日の説教師さまの讀題(テーマ)である法然上人の一枚起請文の一節を刻むという心憎い演出。有難うございました！

万博、インド館の戦利品



ヘリの部分を擦って倍音を出すシンギングボウルとして売っていたが、お鈴として買う。日本のお鈴では、中に仏を描くという発想はなく、新鮮な感じ。側面にはヒンディー語？が書かれている。意味は分からない。。。ちなみに万博では国名がインドではなく、ヒンディー語表記のバーラトになっていた。日本もいつかJapanではなく、Nipponになるのだろうか。

五感で味わうお寺 ～毎年恒例の小学2年生の校外学習、町探検～



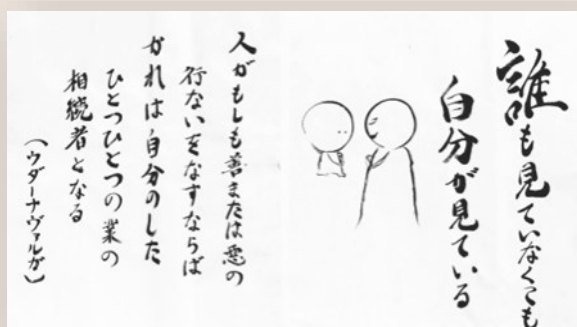
「ほら、でっかい木魚やろ」「これはドラえもん^{どら}の銅鑼やぞ～」「火の用心の戒尺も使うんだよ」「うるせえ！」「ええ音なってるやん！」「炭にお香を少しパラパラとしてみ、ええ匂いやろ？」「くせえ、俺あかんわ」「香水みたいに体に塗り込むお香もあるんやで(塗香)」「わあ、いい匂～い」「ちなみにそれ食べれるよ」「うそ～!?」「阿弥陀さん、横から見てみ、だいが前のめりやろ、みんなのもとにすぐ行けるようにやで」「すげえ倒れへんの？」などなど。話をただ一方的に聞くより、触ったり、嗅いだりしながら五感で味わってもらう方が少しでも記憶に残るかな？

No 仏教, No Life

門前揭示板 一言法話

最近の門前揭示板は、「ダンマパダ(真理のことば)」や「ウダーナヴァルガ(感興のことば)」といわれる原始仏典を題材にしています。これらは私たちが普段目にするお経とは少々毛色が違います。そこに人々を救う仏や極楽の世界などは出てきません。ただひたすら自らが今をどのように生きるべきかという教えが、短く分かりやすい言葉で説かれています。2500年経った今も尚、色褪せないブッダの肉声をこれからも引き続きお届けしていきたいと思います。

10月

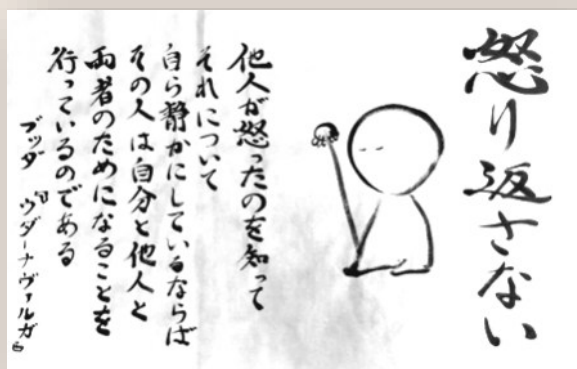


後ろめたい思いがありながらも、言い訳を用意し、自分を、他人を納得させて、物事を自分の都合のいいように運ぼうとしてしまう私たち。別に誰かに迷惑をかけているわけではないなら、いい気もしますが、やっかいなのは、

この「私」がその言動を覚えているということです。

積み重なると大きな重い荷物となります。抱えて歩き続けるのは大変です。

11月



怒りが怒りを買うことになり、怒りの応酬はエスカレートしていくのが常です。ブッダいわく「愚かな者は弱い奴と思うかもしれないが、怒り返さないことは、自分のためだけでなく、相手のためでもあり、両者を大きな危険から守っているのである。よく忍ぶ者にだけ最後の勝利の花が飾られる」と。

お知らせ

西光寺役員の去就

【ご逝去】別所 佐土新 梶原弘充さん

世話人の中でも最古参で、昭和の時代からお世話を頂いておりました梶原弘充さんがご逝去されました。和やかなお人柄で、陰に陽にお寺、住職を支えていただきました。生前のご厚情とご尽力に、心より感謝申し上げます。

西浜丁世話人

【退任】岩井恵さん 【就任】梶原裕子さん

岩井恵さんは、平成20年より長きにわたり世話人をお務め頂きました。当山の行事はもちろんのこと、本山や各地への参拝旅行、寺子屋など多くの時間を一緒にさせて頂きました。長い間大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

後任には梶原裕子さんにご就任頂くことになりました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

令和8年度 年忌表

年忌(法事)があたっておられる方には、別途ご案内致しますが、土・日・祝の午前中をご希望の方は早めに日時をご予約下さい。

年忌	没年
1周忌	令和7年
3回忌	令和6年
7回忌	令和2年
13回忌	平成26年
17回忌	平成22年
25回忌	平成14年
33回忌	平成6年
50回忌	昭和52年

ご逝去の報

東ノ丁	石原尚子さん	93歳	令和7年9月1日寂
佐土新	梶原弘充さん	83歳	令和7年9月15日寂
神 戸	黒川佳英子さん	84歳	令和7年9月16日寂
曾 根	天野道晴さん	91歳	令和7年9月20日寂
中ノ丁	清水孝子さん	77歳	令和7年10月10日寂
西ノ丁	梶原桃代さん	83歳	令和7年10月10日寂
中ノ丁	石原耀子さん	91歳	令和7年10月23日寂

除夜の鐘・修正会のご案内

12月31日(水)

午後11時40分頃～(午前0時半頃閉門)



編集後記



今年も余日少なくなりました。1年は感謝の気持ちで終わりたいものです。いや、1日の終わりもそうでしょう。おそらく人生の終わりも。怒ったまま、後悔を抱えたまま、新しい日を迎えないようにしましょう！来年もどうぞよろしくお願いいたします m(_)_m

振り向けば お世話になりし 人ばかり



じゅうやえ
十夜会

11月30日(日)

午後1時～ おつとめ
午後2時～ お説教

説教師

熊本県熊本市

れんだいじ

あさのちこう

蓮台寺 浅野智弘 師

お説教の前後に塔婆回向(ご先祖の供養)をいたします。
ご希望の方は当日世話人席にてお申込み下さい。事前に
住職にお渡し頂いても結構です。戒名(〇〇家先祖代々、
俗名でも構いません)と施主名(お申込みの方のお名前)を
メモしてお持ち頂くとスムーズです。一霊三〇〇円です。

おみやげに豆ご飯をご用意しています